

# 一人暮らし高齢者親睦旅行記

主任児童委員/二瓶範子（名入）

去る9月25日、町一人暮らし高齢者の親睦旅行が実施されました。あいにく雨の天気でしたが、参加者10名とスタッフ5名の15名で出発しました。

最初に米沢市の「上杉神社」を参拝し、記念写真を撮りました。上杉神社は米沢藩祖である上杉謙信公を祀る神社で、明日から秋祭りが始まるということでした。準備中の屋台を横目でみながら、静寂な雰囲気一時身を置くことができました。

上杉城史苑内のみやげ店で買い物を楽しみ、併設のレストラン「アビシス」でおいしい昼食をいただきました。皆さん、会話も弾んで楽しそうでしたね。

お腹もいっぱいになり、車の心地良い振動で次の小野川温泉に向う車中は、しばしの間お昼寝となりました。一時間程で当地に着き、道路沿いの足湯に入りました。湯はとても熱く、小松会長さんが一生懸命ホースで水を入れて下さいました。代わる代わる湯につかりましたが、足だけでなく、身体全部がほっこりして幸せな気分になりました。

最後は、喜多方市の「ほまれ酒造」見学です。係りの方に案内していただき、説明を聞きながら蔵の回りを一周しました。貯蔵用の大タンクや流れ作業の行程を間近に見ることができました。蔵元直営店の「雲嶺庵」で試飲をし、それぞれ思い思いの品を買い求めました。女性陣は、これからの料理に活かせるようにと酒粕をいっぱい買い求め、「重い重い」と言っていました。1300坪という広大な原生林をそのまま利用した日本庭園もあり、長時間眺めていたい思いになりました。園内は自由に散策できるそうです。時間があればゆっくりと時を過ごしてみるのもいいと思いますよ。

今回4名の方が初めて参加して下さいましたが、いかがでしたでしょうか。来年はもっと多くの方に参加していただけると嬉しいです。

運転手の酒井さん、今年も有難うございました。



↑ ゆっくり、のんびり、無理せずに

## 社会福祉大会に出席 報告

【報告者：佐々木 邦雄（桧原地区担当）】

第69回福島県社会福祉大会が10月15日会津風雅堂において、約1700名の出席の中で盛大に開催されました。三島町より小堀町民課長、民生児童委員小松会長他4名、受賞者2名の計8名が出席されました。

12時45分開会のことばに続き、記念講演が約1時間15分 演題「炎は消えず瓜生岩子ものがたり」講師は、詩人・作家の廣木明美氏により瓜生岩子の生い立ち～経歴～瓜生岩子象のお話をされました。特に瓜生岩子の年譜を詳細に話され、1829年、現在の喜多方市に生まれ、生家は会津藩領の商家で山形にも支店があり、大変恵まれたが時代の流れは大変不幸が続き、絶望の中で自分より不幸な人が大勢いることに貧者救済の教えに立ち直った人、又、戊辰戦争に巻き込まれた岩子の社会活動は、会津戦争の中から始められ敵味方なく救済が行われ会津のナイチンゲールと称されることに。又、明治時代は会社事業家として、又、女性として最初の藍綬褒章を受賞された人でもある。瓜生岩子像は県内には5ヶ所、県外は浅草寺他に建立されているとのこと。明治30年4月19日、生涯を終える。お墓は、熱塩加納村示願寺に葬られたとのこと。

続いて式典が開催され、特に表彰状・感謝状の贈呈には大変多くの方々を受賞されました。三島町からは、社会福祉施設の役員として長い間尽力された、酒井ハナヨさんと栗城佐さんが表彰されました。お二人には感謝を申し上げたいと思います。

### 【編集後記】

年の瀬も間近になってきました。今年は、例年より9月が悪天候で10、11月が好天候（我が家の太陽光発電量より）でありました。そのせいか、紅葉は、寒暖の差もあり、いつもより艶やかな色づき、見ごたえのある光景だったと思います。

昨年は、屁尻虫（苦さ虫）も少なく、カマキリの蛹も地上近く、雪も少ない冬と思いきや、豪雪でありました。動物の野性的感覚が衰えたのか、それとも単なる迷信（言い伝え）だったのか、今後の統計上に委ねたいと思います。さて、今年の冬は、どんなものでしょうか。雪がなくとも三島らしくありませんが、程々であってほしいものです。

寒さ厳しくなってきます。十分に体調管理にご留意の上、冬に備えて頂きたいと思います。

【北館 長一（西方）】

